

理学療法やまなし 投稿規定

I.本誌の目的

- 1 理学療法またはそれに関する領域・各分野における研究報告の掲載、情報発信
- 2 理学療法および関連分野における最近の傾向や成果の掲載
- 3 山梨県理学療法士会員の卒後継続教育の奨励(生涯教育を含む論文等の掲載)
- 4 山梨県理学療法士会学術大会等にて取り上げられたテーマや発表内容、参考・引用論文等の紹介および関連情報の掲載
- 5 山梨県理学療法士会の発展にかかわる記録(各部局の活動も含む)

II.投稿記事の種類

- 1 研究論文:新規性および独創性があり、明確な結論を示した論文。または編集委員会で研究論文としての掲載が適切と判断された論文。
- 2 報告:研究論文としての条件に当てはまらない研究報告やこれに準ずる論文。
- 3 症例研究:症例の臨床的問題や介入結果について科学的研究と考察を含む論文。シングルケーススタディなどにおいては、介入および経過について臨床推論を明確に提示し、様々な論文などから得られた知見も考察に加えた論文とする。
- 4 実践報告:理学療法の研究・教育・臨床等の実践の中で、新たな工夫や介入、結果等について具体的かつ客観的に情報提示し、その内容が有益と判断された論文とする。
- 5 その他(総説、短報、紹介など):研究論文、報告、症例研究の条件に当てはまらない論文で、編集委員会において総説、短報、紹介などの論文として掲載が適切と判断されたもの。なお、短報とは研究の速報や略報として簡潔に記載された短い研究論文とする。

III.投稿資格

投稿は原則として山梨県理学療法士会員とするが、山梨県理学療法士会員の発展につながる論文であれば会員外の投稿も受理する。

IV.利益相反

利益相反の可能性のある事項(コンサルタント料、株式所有、寄付金、特許など)がある場合は本文中に記載すること。なお、利益相反に関しては日本理学療法士協会が定める「利益相反の開示に関する基準」を遵守すること。

V.著作権

本誌に掲載された論文の著作権および著作権は、山梨県理学療法士会に帰属する。また、本誌に掲載された論文は山梨県理学療法士会ホームページなどでオンライン公開されること

もある。

VI.研究倫理

ヘルシンキ宣言および厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」などの医学研究に関する指針に基づき対象者の保護には十分留意し、説明と同意などの倫理的な配慮に関する記述を必ず行うこと。所属施設の倫理委員会等の承認を得たうえで、倫理審査委員会名および承認番号(または承認年月日)を記載することが望ましい。

VII.原稿の採択

原稿の採否は複数の査読者の意見を参考に編集会議において決定する。査読の結果、編集方針に従って原稿の修正を求めることがある。また、必要に応じて編集委員会の責任において字句の訂正やレイアウトの変更を行うことがある。

VIII.校正

著者校正は原則として 1 回とし、誤字脱字を除く文章および図表の変更は原則として認めない。

IX.投稿原稿の条件および執筆要綱

1 投稿条件は、他誌に発表、または投稿中の原稿でないこと。

本誌の規定および執筆規定にしたがって作成すること。

2 原稿は E-mail にて学術誌編集部宛に提出する。

3 規定枚数について

研究論文、症例研究、その他は、要旨、文献、図表を含んで原則として刷り上り 6 頁(400 字詰め原稿用紙 32 枚)以内 ・ 短報は要旨、文献、図表を含んで原則として刷り上り 4 頁(400 字詰め原稿用紙 24 枚)以内 ・ 図表は 1 個を 400 字詰め原稿用紙 1 枚として換算すること。また、超過する場合は学術誌編集部にその旨連絡をする。

4 表題、ランニングタイトル、著者名、論文内容に即したキーワード(3 つ)、要旨、本文を記す。著者頁には著者名・職種・所属名を記載する。

5 論文には和文の要旨(400 文字程度)をつける。英文の要旨は特に必要としない。

6 本文：本文は原則以下の項目に沿って本文を構成すること。ただし、研究論文(原著)、短報以外の論文(症例研究など)においては、著者の判断で項目名を変更してもよい。

① はじめに(序論、緒言)：研究の背景、臨床的意義、研究の目的、取り扱っている主題の範囲、先行研究との関連性の明示などを記述する。

② 対象および方法：用いた研究方法について第三者が追試できるように記述する(倫理的配慮も記述する)。

③ 結果(成績)：研究で得られた結果を本文および図表を用いて記述する。データは検

証、追試を行いやすいように図（グラフ）よりも表にして数値で示す方が望ましい。
図や表には通し番号を記載し、該当する本文にも通し番号を挿入する。図や表のタイトルは、表の場合は上段に、図の場合は下段に記載する。また、図や表毎に説明を加えることが望ましい。必要がない限り表に縦線は使用しない。

- ④ 考察（分析）：結果の分析、評価、今後の課題などを記述する。
- ⑤ 結論：研究で得られた結論を簡潔に記述する。
- ⑥ 利益相反：利益相反の有無について記載する。
- ⑦ 謝辞：著者資格には該当しない研究への貢献者については謝辞に記載する。

7 単位は原則として国際単位系（SI 単位）を用いる。

長さ：m、質量：kg、時間：s、温度：℃、周波数：Hz 等

8 略語は初出時にフルスペルあるいは和訳も記載する。

9 機器名は「一般名（会社名、製品名）」で表記する。

10 引用文献は本文の引用順に並べる。

本文中の引用番号は本文先頭より順に記載する。

雑誌の場合：著者氏名、論文表題、雑誌名、巻、（最初～最終）、西暦年号の順に書く。

単行本の場合：著者氏名、書名、編集者名、発行所名、発行地、年次、頁を記載。

引用文献の著者が 3 名以上の場合は、最初の 2 名を記載する。

[例]

- 1) 中村隆一，齋藤宏，他：基礎運動学（第 6 版補訂）．医歯薬出版株式会社，東京，2015，pp.408-410.
- 2) 岡田誠，才藤栄一，他：トレッドミル歩行と平地歩行における床反力の比較．理学療法学．2002; 29(6): 209-217.
- 3) Masahiro A, Noboru H, et al.: A new model of skeletal muscle atrophy induced by immobilization using a hook-and-loop fastener in mice. J Phys Ther Sci. 2017; 29(10): 1779-1783.
- 4) 総務省統計局ホームページ 高齢者の人口．<https://www.stat.go.jp/data/topics/topi1211.html>（2021年11月11日引用）

11 本文中には行番号および頁番号を必ず記載する。

X.原稿送付方法および連絡先

山梨県理学療法士会 学術大会局 学術誌編集部

E-mail : gakujuetsuy@gmail.com

TELL : 0554-63-4411

*お問合せなどは、E-mail にてお願いいたします